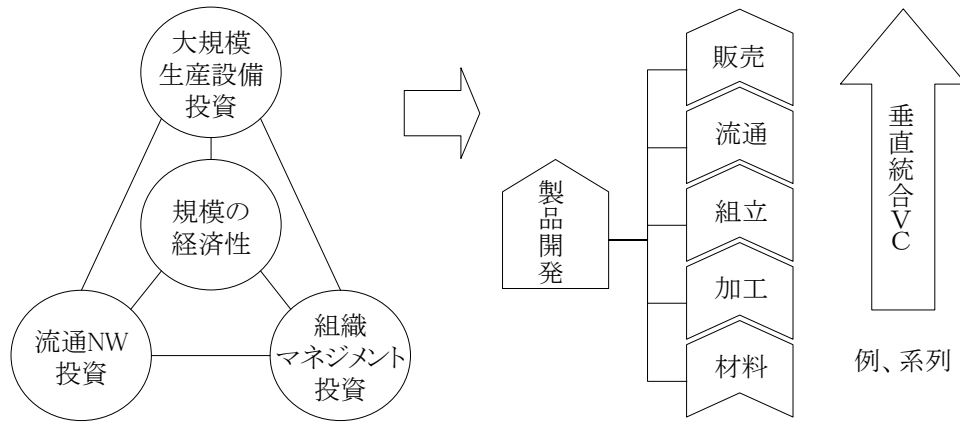
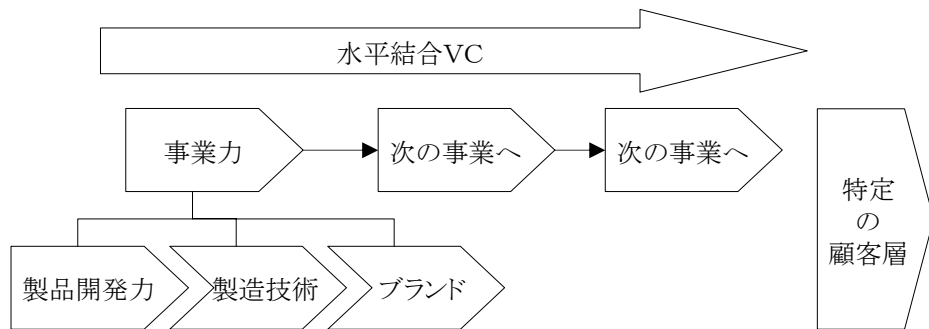


バリューチェーンの推移

20世紀は規模の経済であり、大規模生産設備投資、大量消費を維持する流通ネットワーク投資、大きな組織・マネジメント投資が中心で、その投資回収のために、右肩上りの売上成長と市場占有率の拡大が必須であった。さらに収益性を高めるために、材料、部品製造から製造組立、販売にいたる垂直統合バリューチェーンを構築していった。



21世紀は情報とネットワークの経済性の複合した概念としてとらえられ、この特長は
 ①共有容易 ②組合価値増大 ③消耗しない ④圧縮、解凍容易 ⑤活用費用少ない
 ⑥情報大容量化 ⑦情報高品位化 ⑧情報リンク容易 であり、以前参入障壁があった業界でも、参入が容易になり、同一企業で特定顧客層を対象に様々な製品販売・サービスを行なえるようになり、水平結合のバリューチェーンが進んだ。



出展: DIAMOND ハーバード・ビジネス

2・4 バリューチェーンの企画

バリューチェーンの検討は、事業における価値創出の仕方を検討することです。その価値創出を部門や事業単独で考えるのではなく、連携してより強くすることを企画すべきです。この検討結果は、ビジネスモデルとして具体化することになります。

バリューチェーンの検討は、対象市場に対して、どのような価値をどう提供するか、その結果として自社並びに関係企業にどう利益を導くかを検討することです。さらに競合に対しての自社の優位性の発揮の仕方を企画し、それを将来に向けて継続して維持するためのしくみを明確化することです。よって現在のビジネスにおいても、さらに将来に向けて継続して維持するためのしくみを明確化することになります。変らないことのリスクも考えて検討することが重要です。

